

高齢期／種とり・自分活用

高齢期は「種とり」または「自分活用」の期と考えます。今までに得た知恵と技を次世代に伝えながらも、自分たちの力を発揮し、活躍の場を広げていく期です。
自分の得意な分野で活躍できるよう支援を行います。

- ・経験や知識をいかす機会の提供
- ・社会参加を促進する事業や講座
- ・知恵と技術を伝承する機会の創出
- ・希望するあらゆる人に本と親しむ機会の提供



学習・活動の過程をイメージ図にしました。

幼少年期⇒青年期⇒成人期⇒高齢期とそれぞれの学習・活動への支援について主なものをまとめました

高齢期は幼少年期・青年期・成人期全ての世代との交流・伝承が求められています。



幼少年期／土づくり・自分準備

幼少年期は「土づくり」または「自分準備」の期と考えます。

さまざまな体験活動とともに、さまざまな人と出会い、自分の中にたくさんの経験を溜め込んでいく期です。

そのために、より多くの体験活動ができるよう支援を行います。

- ・通年的な体験プログラムの実施
- ・プロとの交流によるスポーツや芸術体験
- ・美術作品に親しむ事業
- ・学校と連携した読書環境整備
- ・乳幼児期からの継続した読書環境整備

環境整備

心・体・知恵・知識を蓄えるための環境を整え、それぞれの「期」の目標を達成するための支援を行います。

心……公民館
体……スポーツセンター
知恵……歴史館
知識……図書館

成人期／実り・自分発展

成人期は「実り」または「自分発展」の期と考えます。これまでの体験・経験をいかして仲間とともに主体的に活動を行っていく期となります。

主体的な学び・活動を発展し、継続させていくための支援を行います。

- ・主体的活動のきっかけづくり
- ・主体的活動の継続支援
- ・男性が参加しやすい事業の企画
- ・図書館情報の積極的な発信

青年期／種まき・自分発見

青年期は「種まき」または「自分発見」の期と考えます。幼少年期で得たさまざまな経験をもとに、自分自身でやりたいことや仲間を発見していく期です。やりたいことを発見でき、仲間づくりができるような支援を行います。

- ・青少年研修館での活動支援
- ・スポーツセンターの利用促進
- ・芸術活動に携わることでのまちづくり参画
- ・主体的な読書活動の推進

